

基本目標の取り組み実績と評価①

評価基準 A：計画通り実施できた B：ほぼ計画通り実施できた C：あまり実施できなかった D：実施できていない

基本目標	取り組みの方向性	主な取り組み	前期5年に実施した具体的事業及び成果 (令和5年度は予定を含む)	評価	今後の方針	後期5年の取り組み(特記)
基本目標1 子どもが文化に触れ、心豊かに成長できるまち	①子どもたちに優れた文化芸術を鑑賞する機会を継続的に提供するとともに、文化芸術を創作し、発表する機会の充実を図ります。	本市で推進している「持続可能な開発のための教育（ESD）」により自分で考え、実践していくことを学んだ子どもたちが、その価値観や感性の発揮、表現、さらには国内外の異なる文化に触れる機会を創出するため、「持続可能な開発目標（SDGs）」をテーマとした、子ども対象の国際公募型美術展を開催します。	SDGsアートフェスティバル ・R1 R1.8.24～10.18 4,763名（応募数3,978点） ・R3 オンライン開催（応募数計495点+JICA分41点） ・R5 R6.2.3～12（応募数54点）	B	継続	
		ふるさと写生大会、絵画教室、こども美術展などを継続的に実施するとともに、あかがねミュージアム等で実施される企画展へ小中高生を招待し、子どもたちが豊かな文化芸術に触れる機会が持てるよう計画、支援します。	・ふるさと写生大会 ・子ども美術展 ・各種絵画教室 ・展覧会での取り組み ・「没後10年 平山郁夫シルクロードコレクション展」小学生向け特別見学会（R1） ・小学生向けの企画展冊子作成（R5） ・展覧会での高校生ボランティア起用（R5）94名（予定）	B	継続	
	②学校や活動団体と連携し、多様な文化芸術の鑑賞や体験学習を実施することで、好奇心や感性、創造性を育み、自らが文化芸術活動に取り組むきっかけをつくっていきます。	新居浜文化協会や各文化芸術団体、市民文化センターやあかがねミュージアムの指定管理者等と連携し、子どもや親子を対象とした文化芸術の鑑賞や体験教室等の充実を図ります。	美術展 ・チームラボお絵かきタウン&ペーパークラフト（R2） 6,320名 ・さかんしゃトーマス展（R3） 8,317名 ・近藤勝也eミュージアム（R3） 2,222名 ・おひるねびじゅつかん（R4） 7,090名 ・五味太郎作品展（R4） 4,268名 ・tupera tupera のかおてん（R5） 16,385名 ホール事業 ・にせ桃太郎（R1） 624名 ・ワークショップ 20名 ・はろはろアートプロジェクト（R1） 楽器指導・参加者 26名 ・文化協会創立70周年記念事業 小学生！俳句バトルライブ（R3） ・瀬戸フィルアニメシンフォニー（R4） 800名 その他体験教室等 ・事業団親子教室等（R1～R4） 23回/430名	B	継続	
		学校に演奏家等を招聘して質の高い文化芸術の実演や指導を行うアウトリーチ活動の充実を図ります。	・芸術文化プログラム（R1～R5） 合唱指導 5校、金管指導 24校、楽器指導 4校、コンサート 12校 ・文化庁派遣事業（R1～R4） 7校 ・演劇鑑賞（R1, R4） 18回/ 11,780名 ・角笛シルエット劇場（R1, R3） 4回/ 1,788名	B	継続	
	③次世代を担う子どもや若い世代の意欲や才能を伸ばすための文化芸術活動を支援します。	文化芸術を勉強している学生等に発表の機会を提供するなど、未来の芸術家の育成につながる取り組みを進めます。	・サマーコンサート（R1, R4） ・あかがねジュニア学芸員 R3・7名、R4・5名、R5・8名 ※R2はコロナで中止	B	継続	